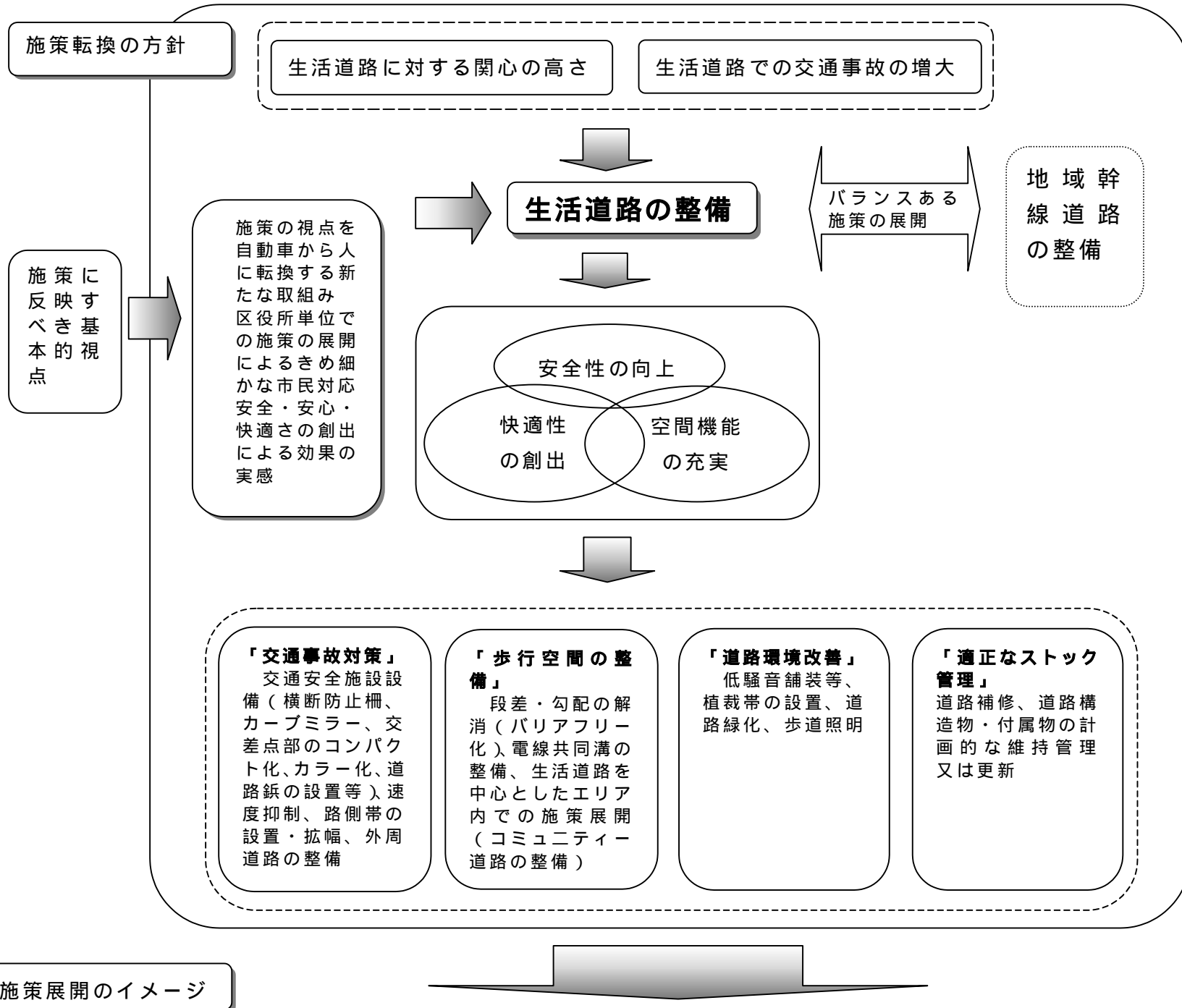


# 安全・快適な生活道路の整備

生活道路においては自動車の円滑化から、歩行者、自転車など生活者重視の施策へ

自動車の円滑な通行に重点を置いてきたこれまでの道路整備から、住宅市街地の道路や駅に向かう道路など市民生活に密着した道路について、施策の重点を「人の利用の安全・快適化」に転換し、市民の日常生活における安全・安心・快適さを創出し、市民にその効果の実感が得られる取り組みを目指す。



重点整備地区を設定し市民、交通管理者、交通事業者など関係機関との協働・協調による施策の実現  
地域の身近な課題を地域自ら合意形成を図り解決する取り組みの推進

## 具体的な施策の推進

### 「あんしん歩行エリア」の整備

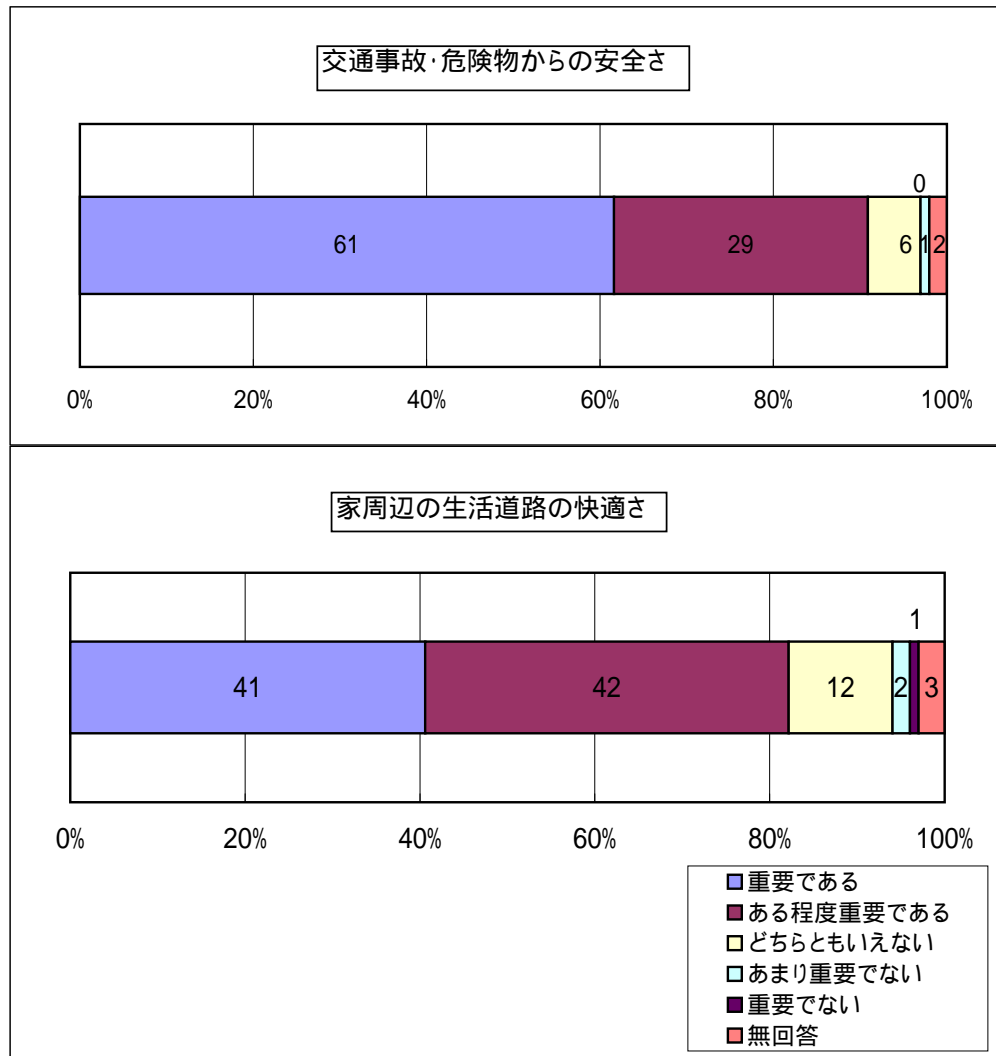
- 1 制度の概要  
市街地の中で特に事故発生割合が高く、歩行者や自転車の安全な通行の確保が緊急に求められる地区を選定し、総合的な安全対策を市民や交通管理者など関係機関との協働・協調により面的に展開
- 2 対策の例示
  - ・歩道の整備
  - ・歩行空間のバリアフリー化
  - ・交差点の改良
  - ・交通信号の系統化
  - ・ゾーン内の速度規制
  - ・クランクやハンプの設置 等
- 3 指定エリア  
観音地区、富士見公園地区、戸手地区、武蔵小杉駅周辺地区、溝口駅周辺地区、宮前平駅周辺地区、登戸駅周辺地区、新百合ヶ丘駅周辺地区の計8地区

### 交通バリアフリー基本構想に基づく整備

- 1 制度概要  
高齢者・身体障害者などの自立した日常生活及び社会生活を確保するため、市民や交通事業者など関係機関との協働・協調の取り組みにより、公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上の促進を図る
- 2 対策の例示
  - ・歩道の段差・傾斜・勾配の改善
  - ・視覚障害者誘導用ブロックの設置
  - ・放置自転車対策としての駐輪場の整備
  - ・バスに乗りやすい歩道の高さの確保 等
- 3 重点整備地区  
基本構想策定済中  
・川崎駅周辺地区、溝口駅周辺地区・小杉駅周辺地区  
・登戸駅周辺地区、新百合ヶ丘駅周辺地区

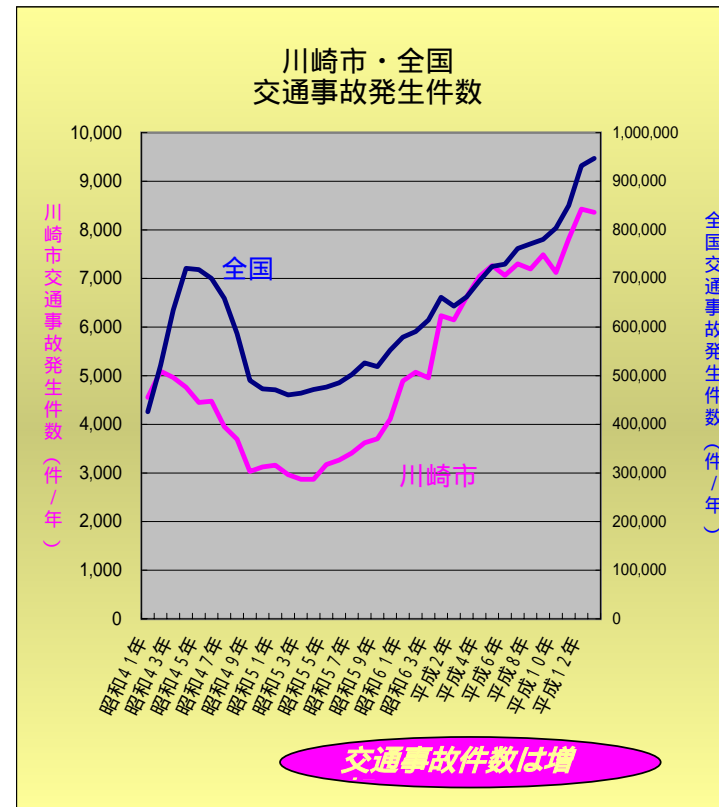
# 生活道路に関する市民の意識等

## 川崎市民の生活環境重要度

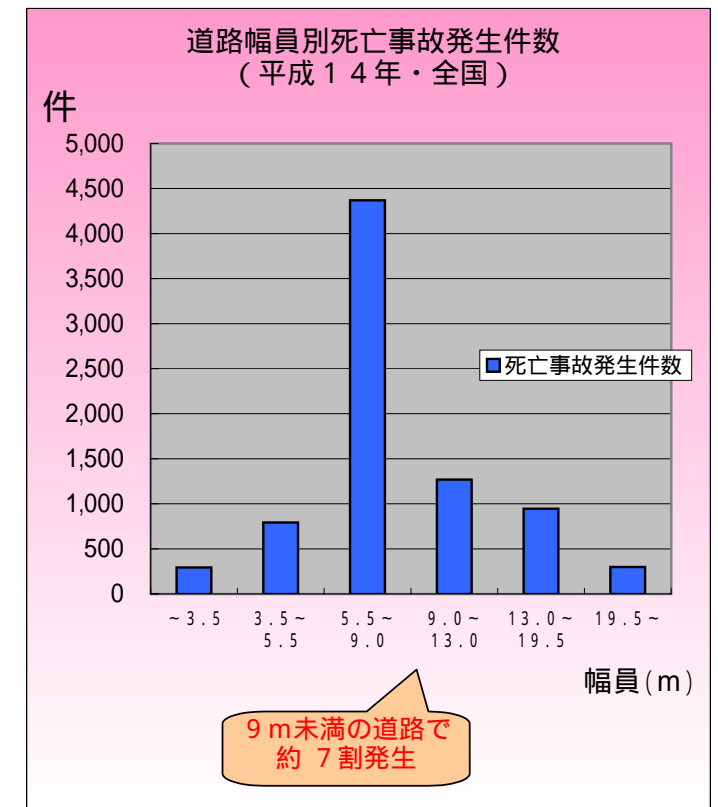


平成15年3月、川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート報告書より

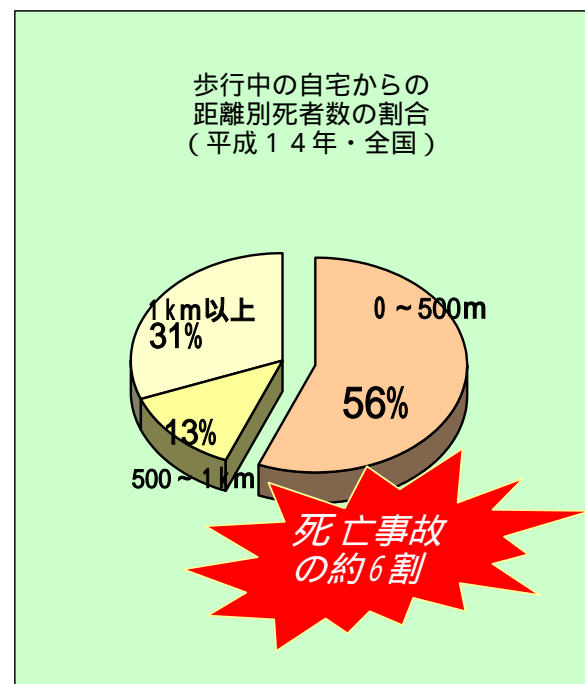
## 道路交通事故の現状



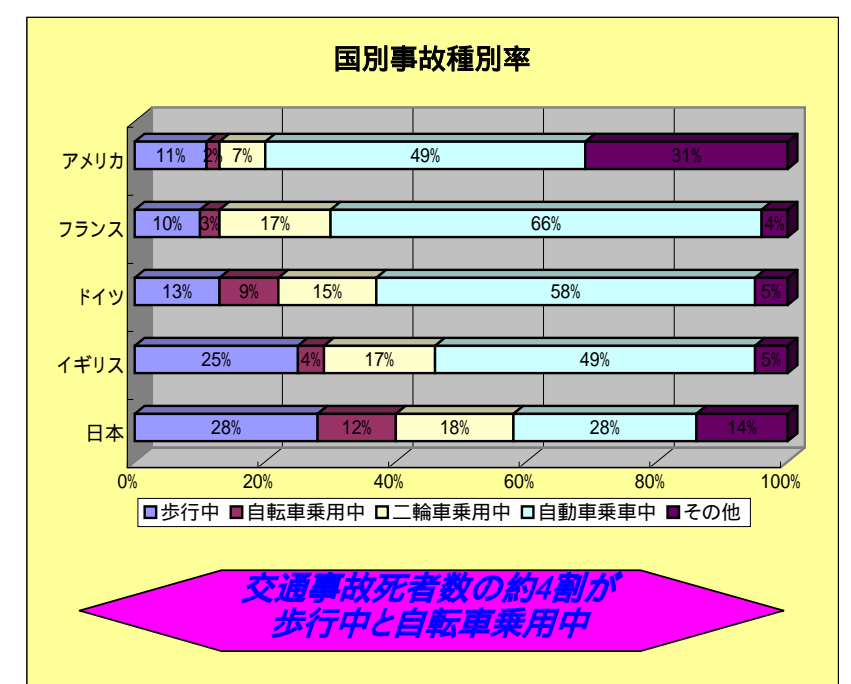
出典: H13交通統計(警察省)



出典: (財)交通事故総合分析センター



出典: (財)交通事故総合分析センター



出典: 国際道路交通事故データベース(IRTAD)



# 《 生活道路のモデル的整備の事例 》

## 交差点のカラー化

カラー舗装や自発光の道路標識を設置することにより、ドライバーや歩行者に交差点を意識させ事故を削減を目指します。



宮前区鷺沼2丁目

## 車道部のクランク化

車道部をクランクすることにより車両の速度を落とし、事故の削減を目指します。



川崎区宮前町

## ハンプの設置

住居系地域においてハンプを設置し速度を落とし、事故の削減を目指します。



他都市の例

## コミュニティ道路の設置

コミュニティ空間を創出し、潤いのある道づくりを目指します。



幸区古市場1丁目

## 路肩の拡幅と識別化

路肩部を拡幅及びカラー舗装等により識別し、歩行空間の確保を行います。



宮前区鷺沼2丁目

## 車道部のS字化

車道部をS字することにより車両の速度を落とし、事故の削減を目指します。



幸区古市場1丁目

## 規制速度の明示

住居系地域への進入時に制限速度を意識させ、事故の削減を目指します。



他都市の例

## 段差の解消

段差をできる限り解消し、高齢者や障害者に配慮し歩きやすい道路づくりを目指します。



川崎区宮前町